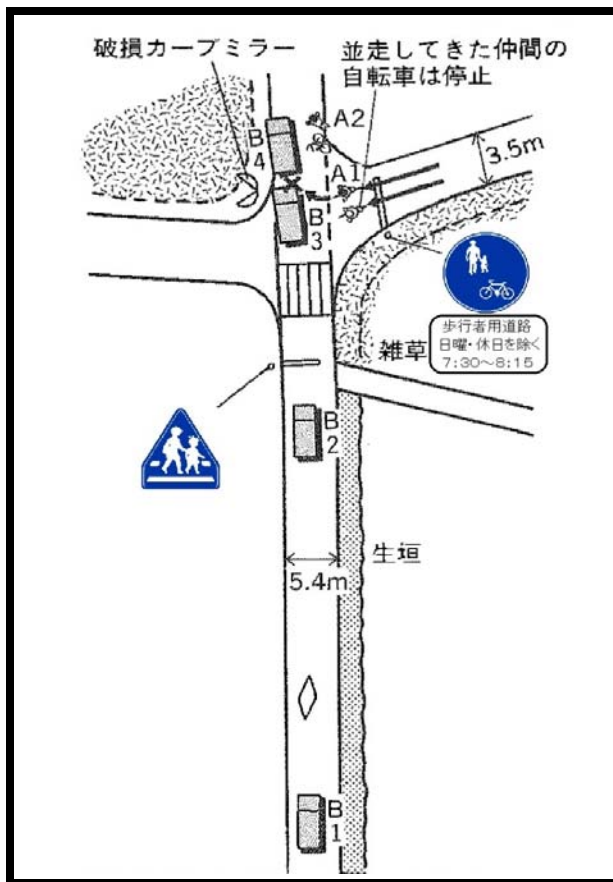


## ■事故の概況



事故類型：出会い頭  
発生日時：夕方 曇り  
当事者A：自転車 中学生 男性  
当事者B：普通乗用車 20歳代 男性

## ■ 事故の概要

Aは友人2人と話をしながら幅員3.5mの道路を自転車で並列走行していました。雑草で左方の見通しの悪い交差点を通過する際、他の2人は交差点手前で一旦停止をしましたが、話に夢中になっていたAは停止もせずに交差点に進出し、左方道路から走ってきたB車の右前面に衝突しました。

Bは、交差点手前で3台の自転車を発見しましたが、自車が優先道路であり相手が止まるだろうと思い、そのままの速度で進行したところ、Aが停止せずに交差点に進入してきたため、急ブレーキをかけましたが間に合わず、衝突しました。

## ■ 事故から学ぶ

この事故の主な原因は、Aの安全不確認ですが、Bは事前に自転車を発見していたのですから、徐行や一時停止などの安全措置をとっていれば事故を避けられた可能性があります。交差道路に自転車や他の車両を発見したら、自車が優先道路であっても、相手が停止するだろうなどと轻信しないことです。話しながら並走している自転車には、特に注意が必要です。会話に夢中になり、信号や交差点に気づかないことがあります。

自転車も交通ルールを守り、周囲の安全を確認しながら運転しなければなりません。